

# 道

2022・3・9

通信 No 1673



サクラジョウ

ロシアのウクライナ侵攻により、団員の中に不安と動揺が起こっております。運営委員会ではホームページに抗議文を掲載させていただきました。練習曲の見直しも含めて、急遽企画選曲委員会を開催することにいたしましたので関係者の方ご参加よろしくお願いいたします。またご意見のある方は各パートの運営委員等にお伝えください。

企画選曲委員会 3月16日(水)3時~5時 場所 県民サポートセンター 7階会議室

## 【中山先生のメッセージ】

プーチンの狂気によって起こされたロシア軍のウクライナへの侵攻は今や全面的な侵略戦争に拡大しています。

両国の音楽、歌を愛し、両国に演奏旅行に行きどちらにも多くの友人、知人がいる私にとって、こんな悲しいことはありません。テレビでウクライナの子ども達が死んでいたり泣いたりしている映像を見ると胸が張り裂けそうになり、同時に怒りがこみ上げてきます。私たち日本人もみんな「戦争反対」を声を大に叫び、そのための行動を起こすときです。

幸い私たちには歌というカブよい武器があります。そこで提案があります。ウクライナ人に連帯し彼らを励ますために、私たちがこれまで歌ってきたウクライナの歌を歌いひろめ、大勢の人々に聞かせることです。

街頭デモに立ち上がっているウクライナの人々に団員の少人数でもいいので歌って聞いてもらう事です。ウクライナ民謡で歌ってきた曲を下に記します。

- 1 広きドニエプルの嵐
- 2 森はざわめく
- 3 バンドウーラに寄せて (バンドウーラをとって)
- 4 小川の洗濯場で

日本人がこれらのウクライナ民謡を歌うのを聞いて、ウクライナの人達はどんなにかよろこび、私たちにとっては彼らへの大きなはげましになるはずです。

さて、ロシア民謡についてですが、敢えて今沢山の曲を歌う必要はないかもしれません。しかしロシア民謡はプーチンのロシアが作ったものではなく、各地で反戦、反プーチンのデモをして拘束されている何千人ものロシア人たち、その祖先たちが作ったものであり、人類全体の共有財産でもあります。それらを全否定するのは誤りです。日本の悪い政治家たちが日本を支配しているからと日本文化を否定する必要がないのと同じです。

ウクライナ問題を日本の軍備拡大や日本へのアメリカの核兵器配備を検討せよとの主張に利用するなど、足元をもしっかり見つめましょう。

3月10日。横浜象の鼻公園で東日本大震災追悼イベントがあります。それにバンドウーラ奏者のカテリーナ・グジー (ナターシャの妹) が出演します。ご参考まで。(増田)